

花水木だより

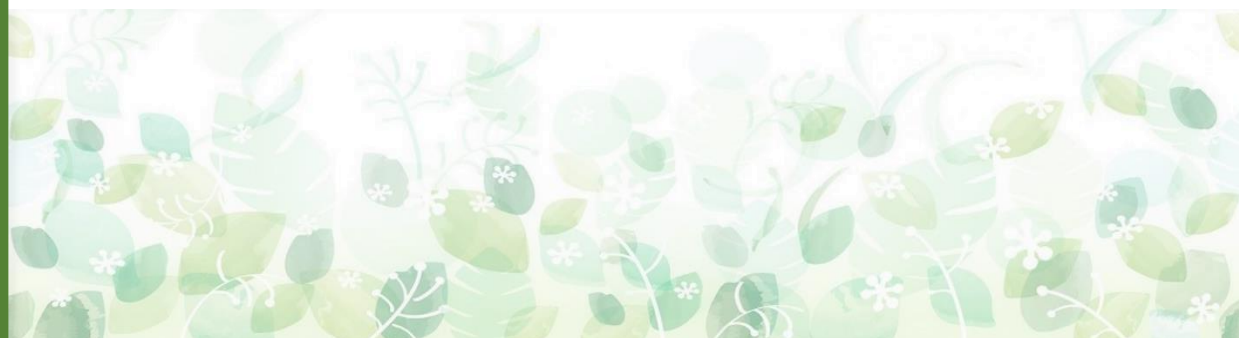
第92号 令和3年 5月
千種区鯉城会会報
発行／花水木鯉城会



〈 花水木鯉城会の輪を広げよう 〉

目 次

表 紙	1
目 次	2
令和3年度 花水木鯉城会	
会長挨拶(巻頭言)	3
役員・運営委員	4
事業活動実績(令和2年度)	5
事業活動計画	6
決算書(令和2年度)／会計監査報告書／予算書	7
10年継続会員(24期生)の声	8～12A
広報委員会	
鯉城会ホームページの変更説明会	12B
社会奉仕委員会	
千種児童館年間行事／公園清掃当番表	13
シリーズ企画 同好会訪問記	
写真同好会	14
会員投稿 1	15
会員投稿 2	16・17
会員投稿 3	18A
千種社協ニュース	18B
表紙の言葉／お知らせ／編集後記	19
今後の行事予定／次号予告(裏表紙)	20





「相手を思いやる“利他の心”で絆づくりを」



花水木鯨城会 会 長
小松 憲次 (32 期美術)

新緑の香りがすがすがしい季節になりました。
花水木鯨城会会員の皆様、お変わりございませんか。

令和3年度、会長の大役を拝命致しました32期小松憲次です。先輩諸兄が永年築いてこられました伝統と実績を誇る花水木鯨城会の会長職には身の引き締まる思いです。

昨年度はコロナ禍の事情により総会および創立30周年記念式典をはじめ殆どの行事が中止を余儀なくされたことには少々悔いが残ります。本年度もその影響を受けざるを得ませんが、愚直に施策を実施して参りますので旧に倍してご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

さて、花水木鯨城会は地域会・同好会・運営委員会が三位一体となって活動する有機的な組織です。そして会員の一人一人が主役です。花水木は企業ではありませんが、昨今求められるダイバーシティ(多様性を受け入れる取り組み)の考え方を推進してまいります。

私は一宮市出身です。幸運にも名古屋・東京・札幌・福岡の各勤務地では60歳まで現役ラグーマンを満喫しました。但し、錦三・銀座・すすきの・中州は良く知りません。年齢・身長・体重等の大小は全く関係なく、多様性を配慮した各ポジションでプレイできるのがラグビーの魅力です。そこから得た教訓はOne for all, All for one(一人は皆のために、皆は一つの目的のために)です。一人一人の行動と考動が実は全体に大きく影響している、見返りを求めず誰かのために無心で頑張る、と言う事です。

花水木鯨城会の活動もラグビーと同じです。会員の皆様には必要以上に無理をされることなく、自らの出来る範囲での活動をお願いします。そして常に利他の心を念じて活動することで、私たちの目指す仲間との魅力的な「絆」が醸成されるものと確信しています。

末筆ながら花水木鯨城会の益々の発展と、会員そして会員ご家族皆様のご健勝を心よりお祈りし、ご挨拶を申し上げます。

注記：令和3年度の総会が開催できなかったため、令和3年度の役員・運営員、活動計画および決算報告・予算案の承認については、令和2年度の役員・運営委員・地域長の皆様にご賛同いただいた内容を、仮承認という形で本号P4～P7に掲載いたしました。 会員各位のご理解とご賛同を頂きたいと存じます。





令和3年度 役員・運営委員

令和3年4月1日
(順不同・敬称略)

	No	氏 名	担 当	期	学 科	クラブ	学 区
役 員	1	小松 憲次	会長 地域委員長	32	美 術	囲 碁	城 山
	2	二宮 敏夫	副会長	30	福 祉	健 康	若 水
	3	檜澤 一也	副会長 社会奉仕委員長	31	生活B	歩いて知ろう会	城 山
	4	南 清貴	行事委員長	31	園 芸	ハイキング	振 甫
	5	木村 達哉	会計委員長	31	地域A	天文気象	城 山
	6	大澤 之夫	広報委員長	32	陶 芸	マジック	若 水
	7	高橋 満里	総務委員長	30	環 境	郷土史	千種台
	8	飯田 蓮子	総務・鯉城担当	30	陶 芸	万葉散歩	千種台
運 営 委 員	9	細川 庸子	総務・鯉城担当	33	健康A	初歩からの将棋	千種台
	10	古田 昇	総務委員	31	地域B	なごやか絵手紙	振 甫
	11	寺澤 正春	総務委員	31	文化B	国際文化研究	若 水
	12	花田 邦子	総務委員	33	音楽コ	旅 行	若 水
	13	永井 静子	総務委員	33	生活A	国際文化研究	千 種
	14	脇所 耐	社会奉仕委員	29	生活B	なごやか絵手紙	振 甫
	15	田中 光子	社会奉仕委員	31	地域B	グリーン	若 水
	16	二宮 孝江	社会奉仕委員	32	生活A	健 康	城 山
	17	野田 忠雄	社会奉仕委員	32	地域A	なごやか絵手紙	千種台
	18	中山貴代美	社会奉仕委員	32	環 境	フォークソング	東 星
	19	杉浦 秋子	社会奉仕委員	32	福 祉	パソコン	振 甫
	20	片山 麗子	社会奉仕委員	33	国際A	国際文化研究	振 甫
	21	長江 文彦	社会奉仕委員	33	国際A	観て知る広報	千種台
	22	波多野美津子	社会奉仕委員	33	国際A	水彩画	振 甫
	23	福島 好明	行事委員	30	文化A	健康ウォーク	千種台
	24	丹羽 文雄	行事委員	32	地域A	旅 行	東 星
	25	坂野 幸子	行事委員	32	地域B	社会研究	今 池
	26	間淵とみ子	行事委員	32	健康A	なごやか絵手紙	今 池
	27	小林 和彦	行事委員	32	国際B	郷土史	振 甫
	28	棚澤 征子	行事委員	33	健康A	パソコン	今 池
	29	高木 収	広報・HP担当	30	地域B	重要文化財	城 山
	30	筒井 孝志	広報・HP担当	30	地域A	郷土史	千 種
	31	大村 悦郎	広報委員	30	生活A	社会研究	振 甫
	32	桑原 守	広報委員	32	地域A	写 真	今 池
	33	水谷 武子	会計委員	32	福 祉	将 棋	千 種
	34	山口三佐子	会計委員	33	生活A	健 康	若 水
監 査	35	松川 正信	会計監査	29	地域B	広報研究	城 山
	36	清水 勝昭	会計監査	30	地域B	太極拳	今 池

「花水木鯉城会細則の一部改訂」についてのご報告

花水木鯉城会の細則で「地域会と地域委員会の業務」の欄に“1. 地域会は、中学校区を一つの単位とし、花水木鯉城会会員で構成する。地域会役員は、地域長1名、ブロックグループ長、**地域幹事(地域に属する運営委員)にて構成する。**”とあります。

これを“**地域幹事にて構成する。**”に改訂いたします。

これにより、地域幹事は必ずしも「運営委員」から選出しなくても良いこととなります。

尚、細則の改訂は“役員会において審議し、運営委員会にて決定する”となっておりますので、総会資料にてご報告させていただきます。

事業活動実績（令和２年度）

◎:追加計画

令和２年４月１日～令和３年３月３１日

担当	行事名	開催日	内容	参加
総務委員会	運営委員会	原則、毎月第一火曜日	運営委員会 9 回開催（富士見台会館 大会議室）	235
	役員会	原則、毎月第四火曜日	役員会 11 回開催（富士見台会館:9 回 社協:2 回）	84
	総会・歓迎懇親会	令和２年４月８日	総会・33 期生歓迎懇親会(ルブラ王山)	中止
	地域ミーティング	令和２年６月 18・19 日	地域活動実践体験(34 期生対象) 社協	中止
		令和２年 11 月 25 日	地域ボランティア活動の意見交換(35 期生対象) 学園	中止
	同好会代表者懇談会	令和２年 9 月 30 日	同好会代表者と役員会との意見交換(社協)	23
	忘年会	令和２年 12 月 1 日	運営委員会忘年会	中止
	新年懇親会	令和３年 1 月 7 日	令和３年 新年懇親会(木曽路 瓦町店)	中止
	34 期生区会説明会	令和３年 1 月 22 日	34 期生 区会入会説明会 学園	中止
	34 期生入会後説明会	令和３年 3 月 17 日	34 期生 入会後活動説明会 社協	中止
	新運営委員説明会	令和３年 3 月 30 日	34 期生 新運営委員の説明会(富士見台会館)	中止
	◎アベノマスクの募集	令和２年 8 月 17 日	アベノマスク募集(6/15～8/14)千種児童館へ贈呈	39
	◎ネット作品展の開設	令和２年 10 月 2 日	趣味の作品展をネット掲示板で紹介 掲載作品数	43
地域委員会	地域長会議	令和２年 6 月 23 日	地域長・幹事と花水木鯉城会役員の意見交換会 社協	16
		令和３年 2 月 23 日	地域長・幹事と花水木鯉城会役員の意見交換会 富士見台	22
広報委員会	花水木だより編集	令和２年 5 月 5 日発行	88 号 16 頁 カラー全頁 新役員紹介 発行部数	300
		令和２年 8 月 4 日発行	89 号 28 頁 カラー全頁 30 年記念特集 発行部数	300
		令和２年 11 月 3 日発行	90 号 20 頁 カラー全頁 同好会特集 発行部数	400
		令和３年 2 月 2 日発行	91 号 20 頁 カラー全頁 作品展 発行部数	300
社会奉仕委員会	ディサービス支援	毎週 月 ～ 金	高齢者介護支援(千種区在宅介護サービスセンター)	342
	ディサービス支援その他	随時	高齢者介護支援(慰問活動など)への支援	146
	コーヒーサロン	2 回/月	コーヒーサービス(千種区社会福祉協議会)	38
	愛護会活動	毎月第一日曜日	茶屋ヶ坂第3公園清掃(実行:各地域会)	109
		毎月第三日曜日	鹿子公園清掃 (実行:各地域会)	92
	◎社協花壇整備	年数回 随時	千種区社会福祉協議会の花壇整備	22
	◎ご近所クリーンキャンペーン	令和２年 11 月 3 日	富士見台会館・千種区社協周辺の清掃	36
		令和３年 3 月 3 日		
	児童館支援	4 回/令和２年度	七たかざり・北村先生の工作など(千種児童館)	15
	クリーンキャンペーン	令和２年 6 月 1 日	全市一斉クリーンキャンペーン(春岡小学校周辺の清掃)	中止
	千種区民まつり支援	令和２年 10 月 4 日	平和公園	中止
	子育てサロン支援	令和２年 12 月 1 日～25 日	「きらきらサンタ」サンタクロース派遣活動(10 拠点)	13
	◎ポッチャボランティア	年数回 随時	千種社協主催の CHIKUSA ポッチャ広めたいへの参加	12
	珈琲ボランティア	1 回/月 程度	千種社協主催のコーヒーボランティアあじさいへの参加	2
	鯉城会活動参加	令和２年 10 月 3 日	鶴舞公園清掃	中止
		令和２年 11 月 7 日	鯉城・堀川クリーンキャンペーン参加	中止
	こころの絆創膏	令和２年 9 月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	中止
		令和３年 3 月		
	名古屋ウィメンズマラソン	令和３年 3 月 14 日	コース整理(古出来町交差点～内山町付近)	29
行事委員会	バスツアー	令和２年 5 月 15 日	「神戸方面」バスツアー	中止
	地域交歓ボウリング大会	令和２年 7 月 13 日	本山ボウル	33
	グラウンドゴルフ	令和２年 10 月 4 日	第 19 回鯉城会グラウンドゴルフ交歓会 庄内緑地公園	中止
	趣味の作品展	令和２年 10 月 20 日～25 日	第 17 回趣味の作品展 66 作品(特別参加 2 含む) 愛知芸術文化センター 12F アートスペースH	来場 478
	16 区フェスティバル	令和２年 11 月 18 日	第 3 回 16 区フェスティバル 東スポーツセンター	中止
	新春講演会	令和３年 1 月 14 日	社協 研修室	中止



令和3年度 事業活動計画

令和3年4月1日 現在

月	日(曜日)	行事名	場所	出席者	担当
4	6日(火)	運営委員会	富士見台会館	役員・運営委員	総務
	中止	総会・新入会員歓迎懇親会		会員希望者	総務
	27日(火)	役員会	富士見台会館	役員	総務
	30日(金)	花水木だより92号 封入・地域会配布日	千種区社協	運営委員・関係者	広報
5	4日(火)	運営委員会	富士見台会館	役員・運営委員	総務
	中止	バスツアー		会員希望者	行事
	25日(火)	役員会	富士見台会館	役員	総務
6	1日(火)	運営委員会・運営委員歓迎親睦会	富士見台会館	役員・運営委員	総務
	延期	全市一斉クリーンキャンペーン	春岡学区	会員希望者	社会奉仕
	17日・18日	地域ミーティング(2年生 34期生)	千種区社協	役員・運営委員	総務
	22日(火)	役員会 13時～	千種区社協	役員	総務
	22日(火)	地域長会議 15時～	千種区社協	役員・地域長・幹	地域委員長
7	6日(火)	運営委員会	富士見台会館	役員・運営委員	総務
	12日(月)	花水木地域会交歓ボウリング大会	本山ボウル	会員希望者	行事・地域
	27日(火)	役員会	富士見台会館	役員	総務
	30日(金)	花水木だより93号 封入・地域会配布日	千種区社協	運営委員・関係者	広報
8	3日(火)	運営委員会	富士見台会館	役員・運営委員	総務
	24日(火)	役員会 13時～	千種区社協	役員	総務
	24日(火)	同好会代表者懇談会 15時～	千種区社協	役員・同好会代表	総務
9	7日(火)	運営委員会	富士見台会館	役員・運営委員	総務
	28日(火)	役員会	富士見台会館	役員	総務
10	2日(土)	鶴舞公園クリーンキャンペーン(予備9日)	鶴舞公園	会員希望者	社会奉仕
	3日(日)	千種区民まつり	平和公園	会員希望者	社会奉仕
	5日(火)	運営委員会	富士見台会館	役員・運営委員	総務
	13日(水)	第19回16区対抗グラウンドゴルフ交歓会	庄内緑地公園	会員希望者	各区・鯉城会
	12日～17日	趣味の作品展 (搬入11日)	芸文12FスペースH	会員希望者	行事
	26日(火)	役員会	富士見台会館	役員	総務
	29日(金)	花水木だより94号 封入・地域会配布日	千種区社協	運営委員・関係者	広報
11	2日(火)	第3回16区フェスティバル	千種スポーツセンター	会員希望者	各区・鯉城会
	6日(土)	堀川清掃大作戦(予備13日)	伏見堀川沿い	会員希望者	社会奉仕
	9日(火)	運営委員会	富士見台会館	役員・運営委員	総務
	17日(水)	地域ミーティング(1年生 36期生)	鯉城学園	役員・運営委員	総務
	23日(火)	役員会	富士見台会館	役員	総務
12	7日(火)	運営委員会・運営委員忘年会	富士見台会館	役員・運営委員	総務
	28日(火)	役員会	富士見台会館	役員	総務
2022年	7日(金)	新年懇親会	木曽路瓦町店	会員希望者	総務
	11日(火)	運営委員会	高見コミセン	役員・運営委員	総務
	12日(水)	新春講演会	千種区社協	会員希望者	行事
	21日(金)	34期生区会入会説明会	鯉城学園	役員・運営委員	総務
	25日(火)	役員会 13時～	千種区社協	役員	総務
	25日(火)	地域長会議 15時～	千種区社協	役員・地域長・幹事	地域委員長
	28日(金)	花水木だより95号 封入・地域会配布日	千種区社協	運営委員・関係者	広報
2	1日(火)	運営委員会	富士見台会館	役員・運営委員	総務
	22日(火)	役員会	富士見台会館	役員・新役員	総務
3	1日(火)	運営委員会 運営委員打上	富士見台会館	役員・運営委員	総務
	13日(日)	ウィメンズマラソンボランティア	未定	会員希望者	社会奉仕
	16日(水)	入会後活動説明会(34期生対象)	千種区社協	役員・運営委員	総務
	22日(火)	役員会	富士見台会館	役員・新役員	総務
	29日(火)	新運営委員説明会	富士見台会館	役員・新役員	総務
4	12日(火)	総会準備	千種区社協	役員・新役員	総務
	13日(水)	総会・34期生歓迎会	ルブラ王山	会員希望者	総務
・ボランティア活動(清掃活動、デイサービス支援活動など)については、別途計画により実施 ・運営委員会：第一火曜日 午前10時～ 役員会：第四火曜日 午前10時～ ・「鯉城かわら版」の地域会配布日 7月30日(金)・10月6日(水)・12月8日(水)・2022年3月9日(水) ※「花水木だより」「鯉城かわら版」は社協ボランティアルーム 10時～封入作業開始 各地域会への配布は11時					

決 算 書 (令和 2 年度)

令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日

(単位：円)

収入の部					支出の部		
科 目			予算額	決算額	科 目	予算額	決算額
年	普通会員	267名	379,500	400,500	総 務 費	107,960	118,089
会	特別会員	16名	8,500	8,000	行 事 費	74,000	63,623
費	計	283名	388,000	408,500	広 報 費	139,700	127,601
入 会 金			36,000	36,000	社会奉仕費	62,100	73,619
愛 護 会			72,000	72,000	地 域 費	95,000	66,285
助 成 金			56,300	67,200	鯉 城 会	81,000	84,900
雑 収 入			16	4	雑 費	3,000	9,358
前年度繰越金			247,874	247,874	30周年記念事業	10,000	504
					予備費	227,430	
					翌年度繰越金		287,599
合 計			800,190	831,578	合 計	800,190	831,578

上記の通り相違ありません。 令和 3 年 3 月 31 日 花水木鯉城会 会長 二宮 敏夫 印
会計 木村 達哉 印

会計監査報告書 (令和 2 年度)

花水木鯉城会令和 2 年度会計収支について、関係諸帳簿及び証拠書類を監査した結果
正確かつ適正であることを認めます。 令和 3 年 3 月 31 日 会計監査 29 期 松川 正信 印
30 期 清水 勝昭 印

※ 当決算書、会計監査報告書は、印刷の都合上 原本記載の報告担当役員の印鑑を省略しております。

令和 3 年度 予 算 書

■収入額 800,610 円

令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

■支出額 800,610 円

(単位：円)

収 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	予算額	摘 要	科 目	予算額	摘 要
年 会 費	363,000	普通会員 242名	総 務 費	142,400	運営委員会、総会、新年会等
	7,000	特別会員 14名	行 事 費	66,000	ボウリング大会、作品展等
	370,000	計 256名	広 報 費	119,900	花水木だより発行関連費等
入 会 金	8,000	新入会員 2,000円 4名	社会奉仕費	79,500	ボランティア保険、公園清掃費等
愛 護 会	72,000	名古屋市土木局	地 域 費	93,300	地域委員会関連費用
助 成 金	63,000	鯉城学園・町づくり推進室	鯉 城 会	76,800	本部納付金 (1名300円)
雑 収 入	11		雑 費	4,000	振込手数料等
前年度繰越金	287,599		予 備 費	218,710	翌年度繰越
合 計	800,610		合 計	800,610	



10年継続会員（24期生）の声

10年継続会員の皆様、長きにわたって花水木鯨城会を支えていただき誠にありがとうございます。皆様お元気の様子うれしく思います。10年の節目にあたり、ご自身と花水木との触れ合い、今のお気持ちなどを紹介していただいたお便りを、ここに掲載させていただきます。

今後とも花水木ライフをお楽しみいただければ幸いです。



中村 英一 様 （地域）



東日本大震災から10年。入会して10年。現在はコロナウイルス感染症予防対策進行中。会員との旅行や、趣味の作品展を楽しく準備したことは思い出になっています。地域会発足のモデル区となり、諸先輩が熱心に努力される姿に頭が下がりました。地域会で密に仲間作りとボランティア活動。振り返りながら前を向いて、魅力ある鯨城会と共に一步一步目標に向かって歩こう。

久連石 一彦 様 （地域）

第二の人生を豊かに過ごすため、高年大学に入学し、色々な方と知り合い、多くのことを学びました。花水木鯨城会では、バス旅行や見学会、懇親会などが懐かしく思い出されます。今は体操クラブやパソコン同好会の活動、趣味の写真撮影、気の合った仲間との食事会などを楽しんでいます。これからも健康に気を使い、適度に体と頭を使ってやっていこうと思っています。



増田 治彦 様 （園芸）



東日本震災の直後に入会し、早や10年経過しました。その間、地域会活動と、いくつかの同好会に所属し、同好会の仲間と楽しく過ごさせてもらっています。鯨城会の仲間は、昔の学生時代と同じで、利害関係なく、人として長く付き合っていけるとと思っています。

今は、コロナ禍のため、いろんな活動が半減し、ウォーキングを中心に活動し、健康を維持しております。

池田 三男 様 （陶芸）

2011年の東日本大震災の年に卒業し、4月花水木鯨城会に入会。実際の活動は10月でした。しかし既に総務委員になっており、その時、花水木鯨城会は冷たい組織と感じましたが、先輩諸氏の指導は懇切丁寧で何ら違和感はなかったと記憶しています。その後、今池地域会で皆さんと仲良く活動し、気が付けば早10年と感じています。花水木鯨城会が、ますます発展するため、卒業した皆さんが多数入会することを願う次第です。

佐野 匡司 様 (環境)



私が鯉城学園に入ったのは、近くに住んでいる先輩から“鯉城学園は非常に楽しい”と勧められ、入学資料を下さったことがきっかけです。応募1回目は不合格、2年目に環境学科に入学出来ました。このクラスは文武両道の人が多く初年度に運動会で優勝でき、非常に楽しい仲間の集まりでした。卒業後は当然の成り行きで、花水木鯉城会に入り、4名が社会奉仕委員となりましたが、委員長には誰も手を上げず、あみだくじとなり、運悪く私に決まりました。

しかし、良き先輩と良き仲間とに恵まれ、社会福祉協議会の浅井さんの協力もあり、料理教室とコーヒーサロンを開設することが出来ました。また茶屋ヶ坂公園と鹿子公園の清掃を各学区での交流の場として活用できる順番制にしました。名古屋女子マラソンのボランティア活動にも参加でき、皆さんの協力のもと、色んな経験が出来た事を感謝しています。不運でなく、楽しい第2の青春時代でした。

神谷 昭三 様 (福祉)

今も毎月1回はデイサービスのお手伝いに行っています。福祉科を卒業したので、いくらかは経験が活かされていると思います。毎月行くと、お年寄りの方々の楽しそうなお顔を見るたびに、やりがいを感じます。これからもデイサービスのお手伝いを自分自身の喜びとして、やって行きたいと思っているこの頃です。近年、デイサービスをやられない方が多くなったと聞きますが、月1回のことで、やったださる方が多くなることを願っています。



國田 絢子 様 (福祉)



早い頃から、学園のオープンカレッジを聴講しておりましたが、入学して多彩なカリキュラムが有り、驚きでした。「先輩」「後輩」と呼び合う生活は、夢の様な『二度目の青春』を謳歌した思いでした。卒業後、デイサービスのボランティアに参加し社会生活との関わり、生活習慣の重要性を学びました。習っていたトロッケンゲビンデを応用し、皆様と木の実で作品造りをした事は、佳き思い出となりました。

藤井 芳美 様 (生活B)

鯉城会の初めは広報部で、石田部長に文章の組み立て、原稿集め、インタビュー、“てにをは”の指導を受け多くを学びました。赤い羽根共同募金、心の絆創膏配り、公園清掃、サンタクロース等のお手伝いをし、料理教室、コーヒーサロン、デイサービスなどボランティアの中で友人との交流も増え、楽しみながら過ごしている事に感謝しております。鯉城会の益々の発展と、皆様のご活躍をお祈りしております。



石田 重夫 様 (国際)



名古屋に住まいを得て 25 年、鯉城学園・鯉城会で得た友人、知人がなければ今の楽しく充実した時間はなかったと感謝しています。広報委員や地域会の世話役などを担当することにより多数の先輩諸兄弟ともお近づきになることができ有難く思っています。3 年前に後期高齢者の仲間入り。幸いさしたる支障もなく元気で巣籠もりに徹しています。早くコロナが収束してコーラスや地域会の行事に参加できる日を心待ちにしています。

出口 元 様 (環境)

花水木鯉城会に入会して暫く経ち、広報より声がかかり委員に加えて頂きました。先輩の指示を受けながら過ごしましたが、翌年に入って突然、編集責任者をやれと言われました。写真も作表も出来なくて無理と断りましたが、何とかして頼みますと背中を押されました。さあ大変です。それから 1 年間は家族の応援を受けつつ「トライ＆トライ」を繰り返し、なんとか役目を果たす事が出来ました。現在の「花水木だより」はカラー版で内容も素晴らしく、楽しく拝見しつつ、あの頃を思い出しています。



鈴木 重光 様 (環境)



千種鯉城会に入会して人生が変わりました。利害のない先輩諸兄から数々の事を学びました。それは、知識、マナー、感謝の心等々です。また僕にとって一番感動したのは 5 年前の 77 才の時、大先輩（今 89 才）が、「鈴木さん、80 才をすぎると体力が一気に落ちるよ!!」でした。その事を肝に命じて、以来、健康管理、体力増強（毎日のラジオ体操、その後、ポールを中心にストレッチ、一日 5 千～1 万の散歩他にジムのインストラクターの指導の下、毎週 90 分のストレッチ、別のインストラクターから月 2 回 90 分の体ほぐし）等々を続けており、お陰ですこぶる元気！今では生きる喜び、生きている喜びを実感しております。尚今年 4 月から毎週、認知症防止の講習会を受ける予定です。

馬場 啓至 様 (園芸)

鯉城学園を卒業して 10 年、学園で知合った人達と戸田川緑地での森造り、鶴舞公園での花壇管理、名城公園での花植え等を楽しみ、学園時代の学科やクラブの同窓会仲間でのハイキング・施設見学や花見等を楽しんでいます。また花水木鯉城会でグラウンドゴルフを教えて頂き、楽しい時間を過ごしています。そして千種区のグラウンドゴルフ大会では、我が学区は長年成績が振るわなかった為、グラウンドゴルフクラブを立ち上げ練習に励んでいます。



浅野 寛 様 (文化 B)



定年後、東京から星ヶ丘に転居。翌年シルバーカレッジに入学、その後、鯉城学園入学。65 歳で花水木に入会し総務委員に。「東星地域会」「同好会」並びに同期委員の有志で立ち上げた「花の 24 期会」での素晴らしい多くの仲間との交流は楽しく、多忙な 10 年でした。特にバス旅行での車内の盛り上がり、料理教室、コーヒーサロンは、思い出深いものがあります。皆様に感謝です。

コロナ禍での息苦しい日々が、早く終息し、当たり前の穏やかな日常が戻り、皆様との交流が再開出来る事を心待ちにしています。

亀山 千恵子 様 (福祉)

学園を卒業してから 10 年が経ち、2 度までは入学できると聞き一昨年、国際に入学しましたが、健康上続けることが出来ず前期で退学しました。その頃うわさでは 92 才の方が入学されたとお聞きしましたが、事実であれば“あっぱれ”です。希望の持てるお話ですね。今も同じクラスだった方とは、ラインで情報交換しています。

皆さん命のある限り頑張りましょう！
今後とも、よろしくお願い申し上げます。



坂 輝枝 様 (健康)



鯉城学園卒の友から学園の良さを熱く紹介されました。応募 5 回目で入学できました。文化祭、運動会等の諸行事がありました。皆一生懸命で、楽しい思い出が残りました。地域会では社会福祉協議会のボランティアに参加しました。月 1 回のお手伝いですが、コーヒーサロンのお手伝いもあります。利用者さんと笑顔で会話交流が出来た時には、学ばせていただくことがあって、感謝の思いでうれしくなります。10 年経った現在の思いは、コロナ禍で収束の見通しのない不安な日々が続いておりますが、会員の皆様、地域の皆様、どうか、お体に無理なく過信なく、健康体で過ごせられますよう願っております。

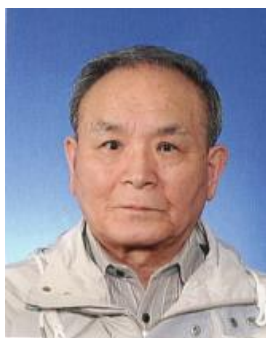
成田 篤子 様 (文化 B)

もう継続 10 年になるのですね。光陰矢の如し、楽しい思い出ばかりのような気がします。私の人生で一番の収穫は友達が沢山出来た事です。その友達が 10 年経った今でも続いてグループが出来、北海道に毎年のように蟹を食べに行ったり、長野の自然を楽しみに、年中行事のように季節を満喫しています。

学園に入って本当に良かったと思っています。これからも残された人生を楽しみに生きていきます。



遠田 勝敏 様 (生活 A)



コロナ禍で迎える 10 年。10 年前、新幹線の車中で妙齢の女性と隣り合って、少年時代（金沢、中学生）の話で盛り上がって、東京迄（見知らぬ人）世にも不思議で奇妙な体験をした。いまだに化かされた気がする。次に 4 年前、9 月の或る日、散歩中に左足の力が抜け、足を引きずって第二赤十字病院へ脳梗塞で入院。治療に 4 か月を要した。

今日この頃は、コロナと趣味のコントラクトブリッジとで共生の感がある。

近藤 雅江 様 (美術)

花水木鯨城会に入会して、早や 10 年が経過。入会当初は、何かボランティアをとデイサービスのお手伝い、鯨城学園の図書室のお手伝いなどをさせていただきました。今は、拙い絵を描いたり、好きな野山を歩いたりして健康維持に努めています。



広報委員会

鯨城会ホームページの変更説明会

去る 4 月 9 日（金）、鯨城会本部において鯨城会の新しいホームページに関する操作の説明会が、各区のホームページ担当者を対象に行われました。花水木鯨城会からは広報委員会の大澤委員長をはじめ 3 名が参加いたしました。講師は本部へ出向(?)している広報委員の筒井さんでした。

主な変更点は次の通りです。

1. 「お知らせ」と「スケジュール」については各区から随時投稿できるようになった。

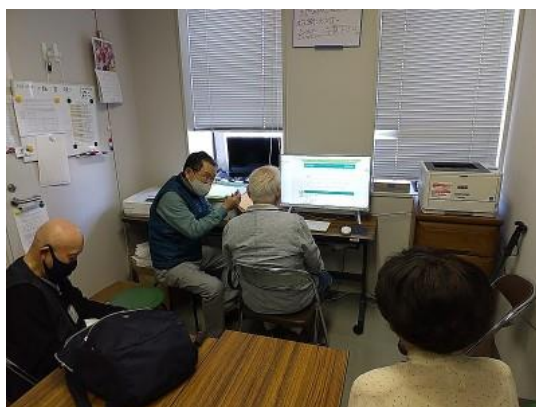
（従来は委託会社が投稿をまとめて、月 2 回定期的に更新していた）

2. 投稿された各記事について、読者からのコメントが随時投稿できるようになった。
3. 各区の掲示板にカウンターがつき、アクセス件数が分るようになった。

コメントは誰でもすぐに投稿できますが、記事とスケジュールの投稿はハードルが少し高いので、操作マニュアル(暫定版)を広報委員の高木さんと筒井さんが作成し、よく投稿される人の意見を聞いて花水木鯨城会の中で広めていくそうです。当面、記事とスケジュールの投稿は、これまでどおり高木さんが窓口になって行います。

会員の皆様、ぜひ一度アクセスしてみてください。

（記：総務委員 古田 昇）



本部における説明会の様子

令和3年度 千種児童館年間行事

行事名	日時	実施時間	人数	対象	行事内容(準備・片づけ含む)
こいのぼり 工作	4/10(土) 13:00~16:00	①14:00~ ②15:00~	4人	4歳以上の 幼児と小学生	子供たちの工作の手伝いをする
七夕かざりを つくろう	7/4(日) 9:30~12:15	10:00~12:00	6人	幼児~高校生	七夕の飾りを子供たちと作り、 飾るお手伝いをする
水陸両用車 工作	8/25(水) 12:30~16:15	①14:00~ ②15:00~	4人	4歳以上の 幼児と小学生	子供たちの工作の手伝いをする
こどものまち	9/5(日) 予備日9/12(日)	未定	6人 前後	小学生~ 高校生	子供が作る子供だけの街で職業 体験をし、働いた給料で遊びます 子供の店の準備や補助 8月に こども会議と店の準備を行います
ハロウィン 工作	10/31(日) 9:45~12:15	10:30~12:00	8人	幼児~高校生	ハロウィンにちなんだ工作の手伝い
クリスマス 工作	12/5(日) 12:30~16:15	①14:00~ ②15:00~	4人	4歳以上の 幼児と小学生	子供たちの工作の手伝いをする
お正月あそび	R4年 1/16(日) 13:00~15:15	13:30~15:00	3人	幼児~小学生	昔ながらの伝承遊び(コマ回し、 あやとり、お手玉、双六、カルタ等) で遊んだり、教えてあげる
じどうかん まつり	R4年 3/6(日) 予備日3/13(日) 9:00~16:00	10:00~15:00	6人	どなたでも	児童館内でお祭りをする 各ブースでのお手伝いをする

茶屋ヶ坂第3公園・鹿子公園清掃当番表

令和3年4月	中学校区	今池	振甫	新会員	若水	城山	東星	千種台	千種
令和4年3月	小学校区	千種 千石 内山	大和 上野	全学区	高見 春岡	田代 見付	東山 星ヶ丘	自由ヶ丘 富士見台	宮根 千代田橋
4月 4日 18日	9時30分	○ ●							
5月 2日 16日	8時30分		○ ●						
6月 6日 20日	8時30分				○ ●				
7月 4日 18日	8時30分					○ ●			
8月 1日 15日	8時30分						○ ●		
9月 5日 19日	8時30分							○ ●	
10月 3日 17日	9時30分								○ ●
11月 7日 21日	9時30分	○ ●							
12月 5日 19日	9時30分		○ ●						
1月 9日 16日	9時30分				○ ●				
2月 6日 20日	9時30分					○ ●			
3月 6日 20日	9時30分						○ ●		

- *1 ○:茶屋ヶ坂第3公園(第1日曜日) ●:鹿子公園(第3日曜日)
- *2 実施予定日が雨天などで中止の場合は、次週の日曜日に実施してください。
- *3 6月は新会員中心の清掃日ですが、令和3年度は中止いたします。
- *4 1月の第1日曜日は2日ですが、9日に変更いたします。

シリーズ企画 同好会訪問記

「花水木だより」の顔である表紙写真を制作していただいているのは、皆様のご想像通り写真同好会の方々です。この度、久しぶりに会合を持たれるとのご連絡を受け、取材に出かけました。写真ファンの幅を広げながら、一方で芸術性を追求するという相反するような方向性を両立させるため、いろいろ工夫されているようです。

(記：広報委員会)



■写真同好会 (連絡先:代表 渡邊 武通 052-762-7552)

一昔前と違って、写真撮影は格段に手軽に楽しめるようになった。高級な一眼レフカメラでなくても、コンパクトカメラやスマホでも高度な撮影が可能となり、誰もが写真で思い出を刻み、情報交換ができる時代になった。しかし、同好会となると敷居が高そうで、そんな会の代表に一筆頂くとすると益々難解で近寄りがたい。そこで筆者は、定例会（今回は会員が作品を持ち寄って意見交換をする選評会）の場に赴き、同会の歴史、活動内容、会員構成、作品への思いなどをお聞きし、会員相互の情報交換の様子や雰囲気を経験させて頂いた。



まず会員構成だが、男性 8 名、女性 3 名の計 11 名の在籍者のうち、鯉城学園写真クラブの OB が 5 名(18 期～25 期)と少ないのは意外であった。学園の写真クラブでは、特定の講師が写真技術や作風を指導されているが、ここではガチガチの写真技術を追求するよりも、会員の自由な発想や感性が尊重されているようだ。鯉城学園で美術を専攻された現会長も鯉城写真クラブの OB ではないし、今も特定の外部講師は必要としていない。しかし、選評会で見せて頂いた会員諸氏の作品はどれも優れたものばかりであった。

同会の主な年間行事は、春と秋の 2 回の撮影会と年 4 回(3、6、9、12 月の第 2 木曜日)の選評会だ。選評会では会員夫々が作品数枚を持ち寄り、相互に講評し合う。それらの作品の幾つかは、「趣味の作品展」や、3 ヶ月毎に発刊される広報誌「花水木だより」の中で見かけるかもしれない。広報誌第 80 号以来、同会にご提供頂いた作品が連続して表紙を飾ってきた実績もある。コロナ禍が収まれば、市民ギャラリーでの年 1 回の作品展も企画されているという。

年会費はたったの 600 円で、写真機材はスマホでも OK とのこと。会のモットーは「自由で健康で、友との繋がりを大切に写真を楽しむ」とのことだが、その魅力を実感した。

さあ、皆さんも写真同好会に加入して写真の感性を磨きませんか。



「さくら見学」

山田 秋男(26期陶芸)

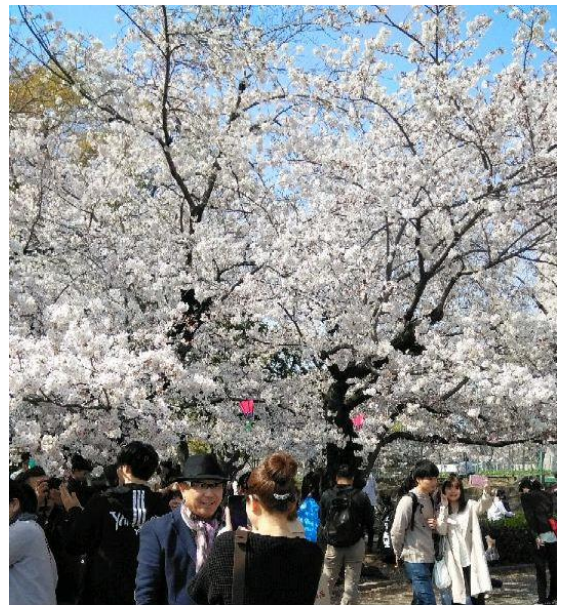
平成最後の春、この近辺は山崎川さくら並木、上飯田の堀川支流沿いのさくら並木、庄内公園、それに東山公園の桜も見ごろだろう。

そして4月6日鶴舞公園の桜は満開だ。この日妻は実家の墓参りであったので、私一人でさくら見学。自転車だ。妻がいないので昼飯を仕入れることもあったので公園を思いついた。それにチョット絵描き中の蘇鉄が幹の傘がどちら向きであったかも確認したかったのである。

イヤハヤ見事な満開である。遠くから見ても近くで見ても美しいものだ。日本人の心を捉える象徴の花なのである。お昼時であったのか、マナーを守って楽しく歓談している様は微笑ましい。

若者のグループがほとんどだ。家族と子供づれは、ゆっくり眺めながら歩いていく。ホットドックやたこ焼きや、串焼きなどを頬張り、見上げながら通り過ぎていくのだ。青シートの若々男女は、桜は二の次のようなのである。食べながら飲みながらの歓談、笑い、手拍子は愉快そうである。騒ぎはあまりない。大人しい限りだ。喧噪もない。必ずどこかで喧嘩がオッ始まって警察沙汰になるが、それもなかった。私がいる限りは。

大人しい、元気はちょっとだけという感じだ。放歌高吟は男の見せどころであるはずだが、それがない。



見渡してみると女性のグループ、あるいは女性が多いグループが目立つ。それで、女性が実に活発なのである。権力を振りまいて男に指示し、命令してそれに従う男達だ。女性のビールの飲みっぷりには感服する。しかも飲み空けるスピードが見事だ。すぐに次の缶の封を開け口に運ぶ様を、あっけにとられ見ている私である。

男はウブなものだ。情けないね、今頃の男は。そう言う私は女房の掌で、いい様に追い回されている男の一人であるが。不甲斐ないね、年金暮らしは。元気が出ないよと、政府に言ってやりたいものだ。

なんだか、何とも言いようもない感想であるが、ゴミの散らかしは相変わらずだ。そうだ、私の昼飯はお好み焼きとみたらし団子三本であった。酒はない。飲みたくもあり、飲みたくもないのだ。お前どっちなのだ、と自問しながら自転車を漕ぎながら家路へ。

そんなこんなでのさくら見学でした。

2019. 4. 7

2021. 2. 23 追記

3年前の記事である。今は新型コロナでこの様な風景は無い。思えば懐かしい。また再びこの様な風景が見られることを願うものだ。ただし、マナーは美しくね。

「正しいマスクのつけ方」

匿名希望

スカスカ・表裏逆マスク ご注意

内科医 伊藤 慎芳
(東京都 66)

最近、マスクや手洗いに関する研究結果が次々に出てきている。しっかりと口や鼻を覆い、手洗いを頻回に行うことの有用性が示されており、医療現場だけでなく、日常生活で励行されている。

よく使われる不織布マスクには、プリーツの向きを下側にするため表裏がある。ノーズピースを曲げて、中央部分は山折りに、鼻のわきの部分は谷折りにし、上下に伸ばして用いる。吸気で多少吸い寄せられ、呼気でもどの程度になるはずである。ずれを直すときはマスクの外側表面

は触らず、耳のひもで調節する。しかしノーズピースをしつかり曲

げず、顔にのせているだけのスカスカのマスクや表裏を逆につけている方を見ることがある。国会中継などでも散見されるぐらいなので、街中でもスカスカのマスク姿によく遭遇する。一方、医療者は時にN95マスクを顔に密着させる装着テストをして、多少の息苦しさや、顔に痕がついたり耳が痛くなったりすることをいとわず働いている。

注意していても感染してしまうことはあるかもしれないが、せっかくマスクをつけるなら正しく使ってください。自身も周囲の方も守りませんか。

去る2月2日(火)朝日新聞の読者投稿欄「声」に右のような文章が掲載されました。

“せっかくマスクをつけるなら正しくつけて効果を100%にしましょう”という内容です。

そういえば私もマスクの裏表がわからず、モノとして美しく見える方を表と決めて使っていました。本当はどうなのか、投稿のご意見を元に考察してみました。対象は不織布マスクです。

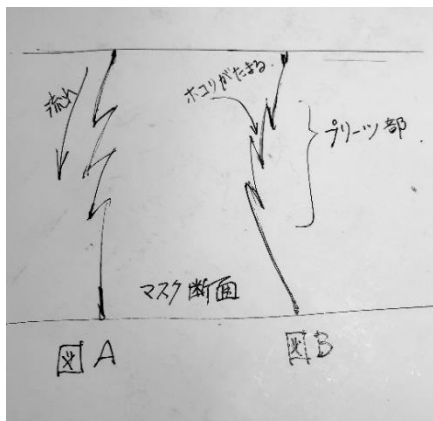
1) ワイヤが入っている方を上にする

これはご存じの通りです。マスクを2つ折りにしてワイヤで山を作り、鼻柱の頂点に当て、鼻の脇両側は谷折りにして、隙間なく正確に顔の断面をトレースします。頂点と谷折り部の距離をとって、鼻を高く見せようなどという小細工は、決してやってはいけません。投稿者はこれを「スカスカ・マスク」と表現し、厳に戒めています。

2) マスクのプリーツが下に向く方を表にする

私の知りたかったのはここです。プリーツが下に向くというのは下図Aの状態とされます。確かに図Bの状態では、鼻に吸い込まれなかったウィルスや花粉がプリーツの谷底に溜りそうな気がします。雨が降っても水溜りができそうです。裏表を逆にするとマスクの効果が削がれるなら、こういう大事なことはパッケージにもきちんと表示すべきです。図Cの箱絵を見て、プリーツが下になるのだと分かる人はどれくらい居るでしょう。

私は、図Aの方が上からの流れがスムーズで美しく見えるので、こちらを表として使っていました。正解でした。美的センスが理論により裏付けされた形で大いに満足です。



ただし、図Dのような製品も売られています。上半分と下半分のプリーツの向きが反対になっています。この場合、プリーツの向きだけでは表裏の判断ができません。ここで表裏を見分けるために、もう一つ商品デザインの知識が必要になります。

私の見方はこうです。

このマスクの末端処理を見ると片側は(A 面とします)スムーズで溶着のドットパターンしか見えないのに対し、もう片側(B面とします)は不織布を折り返して溶着した末端(切れ端)が見えています。

一般的に商品デザインでは、材料の末端は見せないように処理します。具体的には、裏となる側に回す、別部品でカバーするなどです。つまりこのマスクの場合はA面が表です。

しかし、わざわざ「末端が見える方を表にしてご使用ください」と表示しているメーカーも有ります。なぜモノとして美しく見えない側を他人に見せようとするのか、担当者に聞いてみたいものです。



3) 顔に密着させる

医療用のN95というマスクは、顔に跡がつくくらいピッタリと口元を覆うようですね。幸か不幸か私はつけたことがないので感想は言えませんが、理論的に考えても、隙間があればそこからフィルター効果なしで外気が入って来るわけですから、ピッタリに越したことはないことは十分理解できます。

不織布マスクはその辺りに弱点があるように思えます。不織布マスクは左右の末端を見るときっちり溶着されており、上下方向に伸縮の余地がありません。紐を耳にかけると左右端は上下方向に縮もうとしますが、その余地がないので外側に膨らみます。そこに顔のラインと隙間ができます。その点、ウレタンマスクの素材は伸縮性があるので、不織布より頬のラインに沿いやすい気がします。

富岳のシミュレーションではウレタンマスクはあまり評価が高くないようですが、この辺りの要素はきちんと反映されているのでしょうか。いくら高性能コンピュータの出した答えとはいえ、設定条件が異なれば違う答えが出るのは当然です。何の疑問もなく不織布マスクがベストと考えるのは早計だと思います。

それはさておき、マスクをする時は「プリーツを下向きにして、ワイアで鼻の断面を正確にトレースし、マスクの左右はできるだけ頬のラインに馴染ませ、隙間なく口の周りを囲う」ことが大切のようです。

新聞に投稿された方はお医者さんなので、内容は十分に信頼してよいと思われます。顔半分が見えないのをいいことに、化粧をさぼってみたり、鼻を高く見せようと思ったりせず、先生のご意見通り正しくマスクをつけ、コロナ危機を乗り越えましょう。もう少しの辛抱だと思います。

(文責: 広報委員会)

「春よ来い(絵手紙6題)」

脇所 耐(29期生活B)



(上左) 2月の花「水仙」別名「雪中花」とも言う

(上右) 2月～3月にかけての季節の花「椿のいろいろ」

「コロナ禍」で心がすさむ昨今ですが、絵を描くことで心を穏やかに、そして希望をもって前に進む心境で、春の花々と3月の「ひな節句」を迎えての「絵手紙」を描きました。稚拙な作品ですがご鑑賞下さい。

3月ひな節句「ひな人形」と「さくら餅&団子三兄弟」

千種社協ニュース

■「つながり川柳」募集中

「きっかけは 日々の小さな ありがとう」

こんな感じで人とのつながりの大切さを伝える川柳を社協が募集しています。コロナ禍で人との触れ合いがままならない今、それがいかに大切だったか気づかれた方も多いと思います。そんな気持ちを川柳にして送ってください。入選作はユーカリナ大賞3点の他22点。これら作品は「つながりカルタ(仮称)」に使っていただいて社協の各種イベントなどに活用されるそうです。

詳しくは、千種区社会福祉協議会「つながり川柳」係(763-1531)までご連絡ください。応募締め切りは令和3年5月31日(月)です。

■コーヒーサロン再開

この3月、8か月ぶりにコーヒーサロンが再開となりました。教室のように皆前向きで喫茶する、サービス側も人数制限を受ける、など勝手の違いはありますが、お客様に喜ばれることは何よりの励みになります。少し明るい気持ちになりました。



表紙の言葉



題 名：「鯉のぼり一斉遊泳」

撮影者：山本 一（23 期生活 A）

岐阜県の垂井町を訪れて、相川水辺公園一帯での鯉のぼり一斉遊泳を見ました。色とりどりの約 300 匹（町内外から寄付されたものなど）が泳ぐ姿は圧巻でした。

山の彼方には伊吹山の残雪が見えます。元気よく一斉に泳いでいる光景は、コロナ禍での憂鬱な気分を吹き飛ばしてくれます。新型コロナウイルス感染予防対策の一環として、今年は例年（3 月下旬～5 月上旬）より期間が短縮（3 月 20 日～4 月 11 日）。

また機会があれば、次回は桜が満開の時に訪れたいものである。

お知らせ

■お詫びと訂正

「花水木だより」91 号に下記の誤植が有りました。関係者各位にご迷惑をおかけいたしましたこと、深くお詫び申し上げます。合わせて訂正をお願いいたします。

「花水木だより」91 号 P17 下段 写真同好会、健康体操クラブ代表者氏名欄
（誤）九連石一彦 →（正）久連石一彦

■訃報

謹んでお悔やみ申し上げます。

田島 道枝 様：28 期 環境 東星地域会 令和 2 年 11 月ご逝去



編集後記

この 4 月から、会長はじめ各委員の顔ぶれが一新されました。皆さん慣れないながらも、先輩方が大変な御苦労されて築かれた素晴らしい伝統と、和やかな楽しい雰囲気、実績を受け継いで、なお一層、花水木鯉城会を発展させなければという使命感に燃えておられます。そんな中で、「花水木だより」は、全会員の皆様に少しでも喜んで頂き、元気になる情報やお知らせをお届け出来るよう、係一同励んでまいります。

今年は、東日本大震災から 10 年の節となり、加えてコロナ禍に揺さぶられていますが、会員の皆様の活躍する姿を、お伝えしたいと願っています。今回 10 年継続会員の皆様のお声を掲載させて頂きましたが、10 年前は鯉城学園の入学も難しかったとの話もお聞きして、また、その後の花水木生活の充実ぶり、人生を満喫されている姿は、全ての会員の共通の宝と感じました。どうか、今後も率直な御意見、投稿をお願い申し上げます。

（記：大澤 之夫）



広報委員会

委員長 大澤 之夫（32 期 陶芸）TEL. 090-3307-1160

委 員 大村 悦郎（30 期 生活 A） 委 員（HP 担当） 筒井 孝志（30 期 地域 A）

委 員 桑原 守（32 期 地域 A） 委 員（HP 担当） 高木 収（30 期 地域 B）

今後の行事予定(令和3年分)

■全市一斉クリーンキャンペーン

通常年 6月実施分を秋に延期（詳細別途連絡いたします）

■花水木地域会交歓ボウリング大会（詳細はチラシをご参照ください）

日 時：令和3年7月12日(月) 10:00～11:30

会 場：本山ボウル 地下鉄本山駅 服部ビル5階

■千種区民祭り

日 時：令和3年10月3日(日)

会 場：平和公園 メタセコイア広場



■第19回 16区対抗グラウンドゴルフ交歓会

日 時：令和3年10月13日(水)

会 場：庄内緑地公園

■第18回 趣味の作品展

日 時：令和3年10月12日(火)～17日(日)

会 場：愛知県芸術文化センター12階スペースH

■第3回 16区フェスティバル

日 時：令和3年11月2日(火)

会 場：千種スポーツセンター

次号予告

「花水木だより 93号」



封入日：令和3年7月30日(金)

発行日：令和3年8月 3日(火)

花水木だより 第92号

発 行 花水木鯉城会
名古屋市高年大学 鯉城学園
発行日 令和3年5月4日
発行人 会 長 小松 憲次
編集人 広報委員長 大澤 之夫